

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
折りたたみうちわ商品化	城坤	産業	2014年3月に、市民と市長の談話室においてお渡しいたしました、「アイデア提案書」について、ご連絡申し上げます。 折りたたみうちわの商品化のご検討を、お願いいたしておりました。しかしながら約3年が経過し、本日までに、まだお返事をいただけていないようです。 ご多忙中大変恐れ入りますが、状況をお知らせいただきたく、よろしくお願い申し上げます。 取り急ぎご連絡とお願いまで。	平成26年3月25日に市長と面談し、ご提案をいただきました「折りたたみうちわの商品化」につきましては、産業振興課が「香川県うちわ協同組合連合会」と協議検討した結果、製作工程が従来のうちわと異なり、設備投資が必要となるなど商品化は困難であるということ平成26年4月4日付で回答したとおりでございます。よろしく願いいたします。 【相談者から返信】 早速のご連絡ありがとうございます。折りたたみうちわの商品化は困難であるというご回答、承知いたしました。当時の回答書については、迷惑メールと一緒に削除してしまった可能性が非常に高いです。大変失礼いたしました。この度は、お忙しい中、お手数をおかけいたしました。どうもありがとうございました。	産業文化部	産業振興課
花火	城坤		本日実施した花火ですが、何故進入禁止の看板が日本語だけなのか。英語表記が有っても良いと思う。 ・花火見張り人が何故腕章を見える所(腕)につけないのか。腰につけてどうするつもりか。又、蛍光チョッキをつけるべき。見張り人が観客と一緒に花火を見てどうするのか。 ・花火を打ち上げた時、卵サイズのゴミが上から降ってきあちらに散らばってる。もし火がついていたらどうするつもりか。後のゴミはいつだれが片付けをするのか。 細部にわたりしっかりした計画がされているとは思わない。協力されている関係者の教育を含めて来年は見直しをしてほしいのと今回の反省を全員が集まって実施してほしい。	まるがめ婆婆羅まつりは、中心市街地の活性化を目的に、丸亀市観光協会、丸亀市、丸亀商工会議所、商店街等で組織する「まるがめ婆婆羅まつり実行委員会」が実施しているもので、今では県下を代表する夏まつりの一つとして県内外からの大勢の観光客で賑わっています。 まず、今回ご指摘をいただきました進入禁止看板の英語表記につきましては、一部の箇所においては英語表記のテープ等を使用していますが、今後、警備上重要箇所の看板については外国人が認識しやすいよう、英語やマークを一部取り入れた表記に努めてまいります。 また、まつりの運営につきましては、丸亀商工会議所及び丸亀市の職員が中心になって行っておりますことから、従事者説明会で腕章の着用位置や業務にあたる際の心構えについて十分に周知してまいります。なお、一目で従事者と分かるような蛍光チョッキの着用につきましては、必要性も含めて実行委員会で協議してまいります。 最後に、花火打ち上げ後の燃えカスにつきましては、ほとんどの燃えカスは海上に落下しますが、風の向きや強さによっては陸上に落下することがあります。花火業者からは、花火に火がついたまま落下することではなく、これまでの花火大会でも事故はないと聞き及んでおります。 また、ゴミにつきましても、実行委員会職員はもとより、周辺企業・近隣住民などにご協力をいただきながら、翌日以降で清掃しております。 今後、ご協力いただいた関係者による反省会で、ご指摘を参考にさせていただきたいと存じます。まるがめ婆婆羅まつりをより魅力あるまつりに育てていくため、ご協力をいただけますよう宜しくお願いいたします。	産業文化部	産業振興課
撮影許可	市外		撮影の許可について質問があります。営利目的ではないポートレート撮影を考えております。公園は業でなければ許可は不要とお見かけしたのですが 土器川の橋下や商店街での撮影での許可は市への確認で宜しいでしょうか。 まわりへの配慮をした三脚を使用してでの撮影を考えており、出来れば橋下では人通りが少なそうなのでライトを使用したいと考えています。	まず商店街での撮影ですが、特に許可は不要です。どの程度の規模の撮影会かはわかりませんが、複数の人数で営業中の商店の前などで撮影する際には、商店の方に一言、声をかけるなどの配慮が必要ではないかと思えます。土器川の橋の下も許可は不要ですが、堤防の上は道路になっており、交通量も多いことから、ライトの使用は運転の妨げになることのないようご注意ください。 いずれにしても公共の場ですので、周辺の方々に配慮をしてくだされれば大丈夫です。 以上、よろしくお願い申し上げます。	市長公室	秘書広報課

件名	地区	キーワード	内容	対応	担当部	担当課
商店街の復活	城西	中心市街地	丸亀市の北に住んでいる。子どもの頃には商店街には小さなお店が多くあり、人の行き来もあったように思う。今は少しずつ寂しくなっている。最近になって少しずつ動きがあるようだが、商店街を復活させようという動きはあるか。	(新成人と市長の懇談会) 昔はみんな商店街で買い物をしていた。今は大型店舗で買い物をしたり、インターネットで買い物をするようになっている。商店街で買い物をしてもらうには、よっぽどいいものや貴重なもの、そこでしかないものを売るなど工夫が必要である。昔のような商店街の復活は難しいと思う。今後の商店街のあり方として、通る人が楽しめる、遊びに来るような場所作りをし、にぎわうようになったらいいと思っている。現在、商店街に新しいお店を出店しようとしている人に店舗改修費用として100万円の補助金を出している。すこしずつだが新しいお店ができてきている。新しいお店が少しずつでもできてくると人の流れができると思う。いろいろな工夫をしながら盛り上げて行きたい。	産業文化部	産業振興課
駅周辺の賑わい	郡家	中心市街地	駅の近くには飲食店が少ないように思う。県外から観光に来た人たちのために必要だと思う。自分たちが利用する飲食店はカフェとかが多い。ランチで1000円ぐらい。	(新成人と市長の懇談会) 商売として成り立つほど人が多くなれば出店を考える企業も出てくると思う。若い人が行く飲食店とはどのようなものがあるのか。出店してもらえるような魅力的な街づくりをしなければならない。頑張りたい。	産業文化部	産業振興課